

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第5章 章名 医療従事者の確保・養成

第1節 項目名 医師

とりまとめ担当課：医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

医師の養成・確保対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> → 医師修学資金制度により、地域枠医師の医師不足診療科への選択を支援することにより診療科や地域による医師の偏在の解消に取り組みました。 → 在宅医療等の医療需要の増加に対応するためには、在宅医療等を担う医師を十分確保する必要があることから、研修等を通じた教育の機会を継続的に設け、関係団体と連携し、在宅医療をはじめ、地域包括ケアシステムにかかわる医師の育成を行いました。 → 本県は人口当たりの医師数は全国でも下位に位置するが、平成30年度に開始した新専門医制度において、（一社）日本専門医機構から人口が多いという理由で「都市部」に位置付けられ、専攻医の定員数の制限（シーリング）を受けていたが、本県並びに県内医療関係団体による意見提出により、令和2年度採用（令和元年採用選考）から、「都市部」のシーリング制度の撤廃が確定した。
勤務環境の改善と医師負担軽減の取組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> → 医師をはじめとした医療従事者の勤務環境改善に主体的に取り組む医療機関を支援するため、県内全医療機関を対象とした働き方改革関連法の周知、相談医療機関に対する医療経営コンサルタントの派遣、県医療勤務環境改善支援センターによる年2回のセミナーの開催など、勤務環境の改善と医師負担軽減の取組の支援を行った。 → 女性医師の出産・育児等と勤務との両立を可能とし、離職防止・復職支援を図るため、院内保育所院内保育など働き続けられる職場環境づくりなどに対して支援した。

2 参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	R 1	R 2	R 3	R 4		
医師・歯科医師・薬事市調査	隔年12月	未公表 (R2.1頃)					国の実施する全国調査であり、経年の比較が可能のため。	国の公表が調査後1年程度

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 医師の養成・確保対策の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学資金貸付の地域枠医学生・医師の離脱は1名（令和元年4月時点で卒業した修学資金貸付を受け、地域で貢献する地域枠医師は49名）
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来、地域医療に貢献する地域枠医学生を毎年20名程度安定した養成が図られているなど、地域枠医師の養成について概ね順調である。

(2) 勤務環境の改善と医師負担軽減の取組みの推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー開催2回（同時に相談会も開催） ・ 医業経営アドバイザーの派遣を3回した。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周知に努め、また、セミナー開催時に相談会を行うなど工夫を行ったが、医業経営アドバイザーの派遣が3回と低調であるため。

4 総合評価

評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の養成については、地域枠医師の養成が進んでいる。 ・ 勤務環境の改善について、医業経営アドバイザーの派遣が低調であったが、働き方改革関連法適用の5年間猶予が判明し、医療機関の一服感もあったため、やむを得ない点もあった。